

研究課題名	中性脂肪蓄積心筋血管症における冠動脈硬化病変に対する血管内イメージングの研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科循環器内科学 教授 中野 由紀子
研究期間	年 月 日(倫理委員会承認後) ~ 2025年 3月 31日
対象者	2016年4月から2022年12月の間に、広島大学病院循環器内科で経皮的冠動脈カテーテルインターベンションによる治療を受けられた患者さん
意義・目的	<p>中性脂肪蓄積心筋血管症は本邦で提唱された疾患概念であり心筋や冠動脈に中性脂肪が蓄積する事で様々な心血管イベントが発生する難病です。中性脂肪蓄積心筋血管症の冠動脈病変に関してはびまん性狭窄をきたしやすく、また狭窄病変に対して従来治療である冠動脈ステント留置術を行ったとしても再狭窄の割合が通常の動脈硬化病変と比べて高い事が報告されています。現在、本疾患に対する治療薬であるトリカプリン療法が開発中ですが、中性脂肪蓄積を抑制するこの治療は冠動脈びまん性狭窄をきたす前での介入が理想的で今後中性脂肪蓄積心筋血管症の早期診断が重要と考えられます。本研究により中性脂肪蓄積心筋血管症における冠動脈病変の血管内イメージングでの特徴を明らかにする事で本疾患の早期診断につながる可能性が期待できます。</p>
方法	<p>研究者が所属する循環器内科内の診療録等の過去の診療情報を用いて、専ら集計、統計処理を行う研究です。研究に用いるデータは、冠動脈造影所見、血管内超音波所見、光干渉断層法所見を用いて、解析と統計処理を行います。また、診療録（カルテ）より、臨床情報（年齢、性別、身長、体重、家族歴、心疾患既往歴、冠動脈リスクファクター：糖尿病、高血圧症、脂質異常症、喫煙、冠動脈治療歴：冠動脈バイパス術、カテーテル治療、安静時血圧、血液検査値：クレアチニン、尿素窒素、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪、血糖値、HbA1c、NT-proBNP、心エコーパラメーター：左室収縮率、左室容積）を収集します。研究は同一施設内に限り情報は外部に提供しない。</p>
共同研究機関	ありません
利用または提供を開始する予定日	実施許可日以降
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p>

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5540

広島大学病院循環器内科 医科診療医 中野貴之、 助教 池永寛樹